



おおた ゆうすけ
太田裕介
議員



運動部活動地域移行 に対する取組は

問 運動部活動地域移行に向けて課題が山積しているなかで、市としての取組は。

答 令和5年度は教育委員会に魅力ある部活動推進室を設置し、経験豊かな教員などのスタッフをそろえ、地域移行に向けた業務を専属的に行っていく。

問 公立学校だけでなく、地域のスポーツクラブも大会への移動手段がなく困っている。地域全体でのスポーツ活動支援体制の構築が必要と考えるが、市としてマイクロバスを保有する諸団体との仲介役になることはできないか。

答 今後部活などの地域スポーツクラブなどに移行される際、民間の団体への活動支援についても、部活の地域移行とあわせ、検討していく。



環境省「犬と猫のマイクロチップ情報登録」啓発ポスター

ペットのマイクロチップ装着に関して

問 ペットのマイクロチップ情報登録制度施行前に購入された犬猫に対するチップ埋め込みを補助の考えは。

答 現在のところ、マイクロチップの装着に対する補助制度を創設する考えはないが、マイクロチップ装着の有効性については、機会をとらえて周知していきたい。



きした ただし
木下正
議員



子どもの問題に対する本市の取組は

問 性被害防止対策として子どもの着替えなどの対策は。

答 小学校低学年は教室で担任が見守り、高学年の男子は教室、女子は空き教室などで着替え、パーテーションで廊下などから完全に見えないようにしている。中学校では、男女別々の着替え場所の確保が難しいため、制服の下に体操服を着て登校し、教室で制服を脱ぐだけになっている。

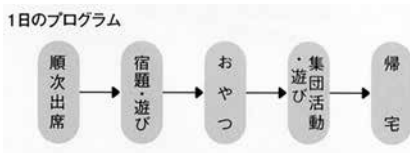
問 子どもの居場所のうち、放課後児童クラブ対策は。

答 令和5年度に新たに2クラブを立ち上げ、民間に委託する予定。定員を全体で125人増やし、支援員獲得のため時給を引き上げ、社会保険への加入も可能とした。また、児童の家庭学習のためWi-Fi通信容量の拡大もしたい。

部活動の地域移行に向けた本市の取組は

問 運営者のみではなく、生徒や保護者、部活動指導員なども含めた協議会も必要と考えるがどうか。

答 生徒や保護者などの意見を伺うことは大変重要なため、アンケート調査や意見交換会などにより把握する。また、協議会での内容もさまざまな場を通して伝えていきたい。



放課後児童クラブの一日



たけむら まゆみ
竹村真弓
議員



補聴器購入助成制度創設への取組

問 助成制度創設の時期は。

答 難聴高齢者を早期に発見し、早期受診から継続的な装着につなげるためのトータルな仕組みが必要。

問 物価上昇が止まらない中での保護者負担増は行すべきではないと考えるがどうか。

答 運営協議会に確認したところ、子どもたちの栄養の確保のための値上げはやむを得ないとの意見をいただいた。国や県の支援を活用できる状況になった場合は、保護者負担の軽減について柔軟に検討していきたい。

学校給食費の保護者負担増

問 県道袋井小笠線の通学時間帯の安全対策は。

答 袋井南小学校では、教職員が児童に指導やボランティアの協力を得て見守りを行っている。自転車マナーの向上、生徒の安全意識の向上にも努めている。関係機関と連携を図りながら安全対策を実施、子どもたちの事故防止に努めていく。



県道袋井小笠線 車両すれ違い時の様子